

2級 把握力 問題

ある金融サービス業の顧客における取引傾向を調べたところ、次のような結果が得られました。

- ・株式の信用取引を行っている顧客は、株式の現物取引と外国為替取引を行っている。
- ・株式の現物取引を行っている顧客は、投資信託も購入している。
- ・国債を購入している顧客は、投資信託も購入している。

この結果からわかることとして、正しいものはどれですか。

- ①株式の信用取引を行っている顧客は国債も購入している。
- ②外国為替取引を行っている顧客は、株式の現物取引も行っている。
- ③国債を購入している顧客は外国為替取引も行っている。
- ④投資信託を購入している顧客は、株式の現物取引も行っている。
- ⑤株式の信用取引を行っている顧客は、投資信託を購入している。

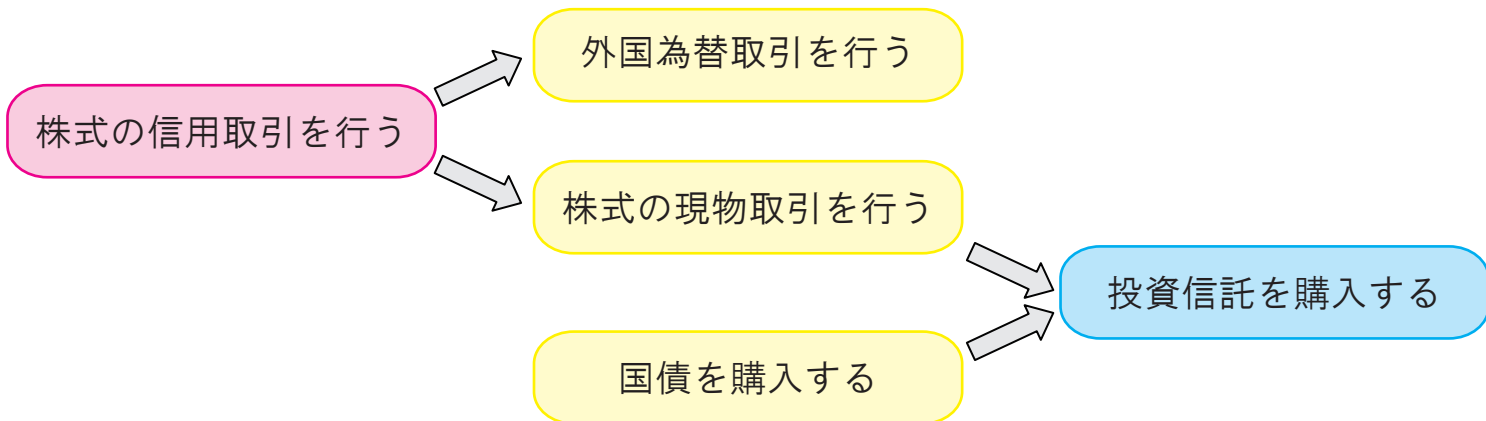
正解

⑤

解説

事象の関係性を論理的に(ロジカルに)把握できるかどうかを測る問題です。

「顧客の要望を正しく理解すること」、「取引先に要求を正しく伝えること」は、ビジネスの基本スキルと言えるでしょう。事象の関係性を正しく把握できないと、どんなに計算力が高くても正しい答えを導き出せません。



この図では、矢印の始点から終点までの関係性は「真」であることを示しています。矢印を逆にたどる関係性は必ずしも「真」とはいえないことに注意しましょう。図から信用取引を行っている顧客は株式の現物取引を行っており、株式の現物取引を行っている顧客は投資信託を購入していることがわかるので、「信用取引を行っている顧客は投資信託を購入している」と言えます。よって、正解は⑤。